



タリス・スコラーズ  
ピーターフィリップスの公開合唱レッスン

[通訳: 戸崎文葉]



2009年6月6日(土) 13:30-14:30  
滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール大ホール

主催: 財団法人びわ湖ホール



ピーター・フィリップス PETER PHILLIPS

ルネサンス・ポリフォニーの研究と演奏の第一人者として高い評価を受けている。1972年、オックスフォード大学の奨学生となり、デヴィッド・ウルスタンとデニス・アーノルドのもとでルネサンス音楽を研究。1973年に結成したタリス・スコラーズを率いて、現在までに1600回を超えるコンサート、50枚を超えるCDレコーディングを行ない、世界中でポリフォニーへの関心を高めるのに大きく貢献している。コンサート、レコーディング、楽譜の校訂出版、コラムの執筆など、ピーター・フィリップスの精力的な活動により、ルネサンス音楽はクラシック音楽の主流の一つと認められるに至っている。タリス・スコラーズ以外に、ヘント・コレギウム・ヴォカール、オランダ室内合唱団、BBCシンガーズをはじめ、他の声楽アンサンブルの指揮も欠かさず行なっている。毎年、世界の各地でマスタークラスや合唱ワークショップを開催し、イギリスとアメリカで行なうタリス・スコラーズ・サマースクールで芸術監督を務める。



## タリス・スコラーズ The Tallis Scholars

1973年にピーター・フィリップスにより創立され、数多くのレコーディングコンサートを通じて、ルネサンス教会音楽においては世界最高の合唱団の地位を占めるに至った。ルネサンス協会音楽の奥深さと多様さに対するその真摯な探求は世界中の聴衆の共感を得ている。フィリップスは歌手たちとともに、確かなチューニングと音の混合によって、純粋で澄明な響きを創り出そうと腐心してきた。その響きこそがルネサンス音楽の演奏に最も適していると感じているからである。そこに立ち現れる音の美、それがタリス・スコラーズの名声を不動のものにしている。年間約60回の演奏を教会で、あるいはコンサート・ホールで行っている。1994年4月、ミケランジェロのフレスコ画修復完成を祝う記念行事の最後を飾って、シスターナ礼拝堂で演奏する光栄に浴した。1998年、ロンドンのナショナル・ギャラリーでの結成25周年記念演奏公演は、ジョン・タヴナーの新曲の初演でスティングのナレーションつきというユニークなものだった。さらにニューヨークでのポール・マッカートニーとの共演も話題を呼んだ。12度目の来日。



## 本日のレッスン受講団体

### <アンサンブル・インジーナ>

覚張睦美 清水真理子 野村友佳 平田真理 松尾由紀江 三浦優子 山口暁子

受講曲:パレストリーナ:アヴェ・マリア

2005年、それぞれに演奏活動等をしてきたメンバーが、五十路を大人としての転換点と考え、今からでも何か新しいものを創りだすことができるのではないかという思いから、声楽アンサンブルを結成。五十路の女性という意味で、アンサンブル・インジーナと命名。その後趣旨に賛同する若いメンバーを加え、オルガニスト、声楽家、ピアニスト、作曲家を含む7名で構成。ジャンルにこだわることなく、ア・カペラ作品を中心に、グレゴリオ聖歌、トゥルネーのミサ、パレストリーナの作品、キャロル、メンバー編曲の抒情歌等を歌っています。ペガホール、カトリック六甲教会、神戸市民クリスマス、ホテルプラザ神戸チャペルコンサート等阪神地区を中心に活動中。

長年様々な形で西洋音楽に触れ演奏していく中、西洋音楽の基盤となるルネサンス音楽の魅力に取りつかれ、その不可欠性を感じ、歌い続けていきたいと思っています。ルネサンス音楽を専門とするフィリップス氏来日にあたり、是非この機会に指導を受けたいと思い応募しました。本日の受講曲はルネサンス最盛期の作曲家パレストリーナの作品から、ソプラノ3声とテナーの定旋律の4声から成る、女声のみで歌えるアヴェ・マリアです。

### <あふみヴォーカルアンサンブル>

中城宗子 長谷部茂子 岩田ひとみ 清水芳子 藤令子  
久保田一臣 山下毅彦 長谷部健 福本憲司 山田良夫

受講曲 F.ゲレーロ: 幸いなるかな、天の後

1998年滋賀県長浜市にて結成。指揮者を置かず、各団員の音楽的感性のぶつけ合いと融合をモットーに音楽作りをしている。ジョスカン・デ・プレ、ジャヌカン、タリス、パレストリーナ、ラッス、バード、ヴィクトリア、モンテヴェルディに代表されるルネサンス時代の宗教曲・世俗曲を中心に取り組みを続ける一方、ロマン派・近現代や日本の童謡・唱歌なども取り上げている。近年は古楽器やオルガンとの共演の機会も多く、活動の幅を広げている。第19回宝塚国際室内合唱コンクール金賞受賞、入賞団体演奏会出演。しがヴォーカルアンサンブルコンテスト金賞4回受賞。常時団員募集中。http://www.afumi.com

ゲレーロには聖母マリアを讃えた楽曲に傑作が多く、「マリアの歌人」とも呼ばれていました。このAve Regina caelorumも甘美で叙情的な特徴を持っています。この曲でゲレーロはソプラノに延々とカントゥス・フィルムス(定旋律)を受け持たせ、下のパートにポリフォニックに刻みながら支えさせていますが、バランスのととり方、声部の出し入れの処理を上手くやらないと混沌となりがちです。その辺りのヒントが得られれば、と思います。

## Information

### これからのびわ湖ホールの公演

6月11日(木)14:00開演 [小ホール]  
びわ湖ホール声楽アンサンブル・メンバーによる  
畑中良輔《日本歌曲セミナー》X I

「水のいのち」などの合唱曲で知られる高田三郎の歌曲を  
とりあげます。

一般:2,000円・青少年(25歳未満):1,000円 [全席自由席]



9月26日(土)16:00開演 [小ホール]

ザクセン声楽アンサンブル ～ドレスデンからの贈り物～  
カンヌ・クラシック音楽賞を受賞するなど、高い評価を得ているア・カペラ  
合唱団の初来日公演。

指揮: マティアス・ユング  
出演: ザクセン声楽アンサンブル  
曲目: バッハ・メンデルスゾーン・シュツのア・カペラ作品(予定)



チケット発売6月28日(日)友の会優先6月26日(金)  
一般:3,000円・青少年(25歳未満):1,500円

11月1日(日)14:00開演 [大ホール]

特別コンサート  
佐野成宏テノールリサイタル ～光り輝く魅惑のテノール～  
ピアノ: 佐藤正浩  
曲目(予定)

ビゼー: 歌劇「カルメン」より“花の歌”  
プッチーニ: 歌劇「トスカ」より“星は光りぬ”ほか  
チケット発売7月4日(土)友の会優先7月2日(木)  
S席:3,500円・A席:2,500円・青少年(25歳未満):1,000円  
友の会会員は、S・A席 各500円引き(青少年を除く)

